

本省、農政局、県拠点が連携して富山県の新規就農を支援

富山県農業の担い手育成を目的に、就農希望者が基礎知識と実践技術を体系的に学べる富山県の研修機関へ、10年以上にわたり講師を派遣し、講義を実施。

○ 施策分類

担い手、新規就農

○ きっかけ・背景、課題の把握

富山県農業の担い手を育成するため、平成27年に開校した富山県の研修機関（とやま農業未来カレッジ）に県拠点が準備段階から参画し、10年以上にわたり、本省（令和5年～）、農政局、県拠点が連携して講師を派遣し、富山県の新規就農を支援。

○ 取組の内容

研修機関への対応は県拠点が窓口となり、就農希望者向けの通年研修では4講座、すでに就農している青年農業者向けの農業経営塾では2講座、合計年間6講座に職員を派遣。

講義内容は、6次産業化、食品表示、知的財産などの専門分野に加え、農林水産省等の組織紹介、農政全般の講義を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

研修生との意見交換では、輸出促進、スマート農業推進、環境負荷低減など農政全般を紹介することで、自身の就農後における経営イメージを喚起すべく、活発な意見交換が行われた。

また、6次産業化の講義では、商品化を想定したグループワークを取り入れ、実践的な講義内容にした結果、研修生からは「6次産業化の理解が深まり、非常にやりがいを感じた」との評価が寄せられた。

研修機関からは、今後も継続的に講師派遣を要望されており、研修修了者の高い就農率を維持できるよう協力していく。



講義の様子



グループワークの様子

体制図

